

令和5年(2023年)度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：東京急行電鉄株式会社・宮古観光開発株式会社・沖縄県宮古島市

協定締結日：平成17年(2005年)9月15日

活動状況：継続中

連携先窓口：東京急行電鉄株式会社(梶原謙太郎)

宮古観光開発株式会社・三浦寛之(支配人)・奥平和成

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：菊野日出彦(宮古亜熱帯農場)

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：必要に応じて世田谷キャンパスから来島

活動目的：産官学が共同して、それぞれが持つ資源を活用し、宮古島の農業および農業関連産業を推進し、相互に協力しあい、地域の発展に貢献することを目的としている。

活動内容・成果：

*東京農業大学の実習に係る学生の宮古観光開発の熱帯果樹園(まいばり)の視察受け入れ

国際農業開発学科(約150名)

*ヤムイモの種芋等の補完

*ヤムイモ焼酎の販売促進

*バナナ病害対策(農芸化学・横田教授)

課題・改善点：

*現時点では宮古観光開発と相互に必要なことについて協力しているが、宮古島市との連携が不足している。市側に産官学連携に対する担当者がいないことも問題だと思う。大学の上層部で決めた連携であるので、各組織の代表者どうしでも交流があれば連携に弾みがつくと思う。

*宮古島市とは産官学の連携ではないが、産業振興局とヤムイモの利用促進のプロジェクトを実施し、各種ワークショップを行った。